



三次中央会報

ロータリークラブ

2025-2026 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム 新年例会 神事／賀寿、年男卓話
- 次回例会日時 2026年1月26日(月) 12:30～
- 次回プログラム ゲスト講演 三次市長

■第1481回例会記録

- 日時……………2025年12月22日(月)12:30～
- 点鐘……………会長
- 国歌「君が代」斉唱……………全員
- ソング「我らの生業」……………全員
- ゲスト紹介……………三次市地域包括センター 係長 野吹 優様
保健師 岩崎洋子様

■開会挨拶……………大井会長

事務所／広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrcc.server-shared.com

例会場／広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル

例会日／月曜日 12:30～13:30

会長／大井 睦子
幹事／重信 優

よいことの
ために
手を取りあおう

●2025～2026年度 三次中央RCスローガン
Love and Peace

「意見表明権」について

皆様、こんにちは。

早いもので本日が本年最後の例会となります。

皆様よいお年をお迎えてください。

本日のプログラムはゲスト講演です。三次市地域包括センター、野吹様、岩崎様、後ほどご講演、よろしく申し上げます。

さて、本日は「意見表明権」についてお話しさせていただきます。

意見表明権とは、自分に関わる事柄について、自らの考えや意見を表明し、その声が尊重される権利のことです。とりわけ子どもの権利として重要視されており、1989年に国連で採択された「子どもの権利条約」第12条に明記されています。そこでは、子どもは自分に影響を及ぼすすべての事柄について自由に意見を述べることができ、その意見は年齢や成熟度に応じて十分に考慮されなければならないと定められています。

日本もこの条約を批准しており、社会全体で意見表明権を尊重する責務があります。学校での児童会や生徒会活動、家庭における進路や生活についての話し合い、さらには自治体で行われる子供議会などは、その具体的な実践例といえるでしょう。また、児童相談所の支援においても、子ども本人の

意向を丁寧に聴き取り、判断に反映させることが重視されています。

意見表明権が守られることは、子どもを単なる「守られる存在」としてではなく、社会の一員、そして自らの人生の当事者として尊重することにつながります。当事者の声に耳を傾けることは、より実情に即した判断を可能にし、結果として社会全体の質を高めることにもなります。

一方で、意見を聞くことが形式的に終わってしまったり、「まだ早い」、「未熟だ」として軽視されてしまう場面があるのも現実です。私たち大人に求められているのは、声を聞くだけでなく、その思いを真摯に受け止め、可能な限り活かそうとする姿勢ではないでしょうか。

奉仕と理解を重んじるロータリーの理念に照らしても、意見表明権を尊重する姿勢は、人を思いやり、よりよい社会を築くための大切な基盤であると考えます。本日の話が、皆様それぞれの立場で「声を聴くこと」の意味を改めて考えるきっかけとなれば幸いです。



■幹事報告.....重信幹事

- 次回例会は、令和8年1月19日です。
- 会報の訂正です。本日のゲスト、坂井栄子様が岩崎洋子様に変更になりました。

■出席報告.....中西委員長

●第1479回 12月1日

会員数	32名	Make-up	1名
欠席	5名	出席合計	28名
欠席者のうち規定免除	0名	出席率	87.5%

●第1481回 本日の出席は32名中28名です。

■IM実行委員会.....信国委員長

お手元にIM実行委員会の組織図を配布しております。ご確認ください。

■会員増強委員会.....信国委員長

お手元に会員増強チームのグループ分け表を配布しております。ご確認いただき、来年1月中には必ずグループごとの会合を開いてください。

■公共イメージ委員会.....和田委員長

会報掲載用に皆さんの「ゆく年・くる年」の投稿を募集しています。写真にコメントをつけて、来年1月10日までにロータリー事務所へ送ってください。

■SAA.....圓道SAA

●会員誕生日…和田君



●会員ニコニコBOXへご出宝

- 和田君 76回目のHappyなお誕生日を迎えました。(大口)
- 小根森君 令和7年、お世話になりました。来年もよろしくお祈いします。(大口)
- 沈君 本日は社会奉仕担当例会です。ゲストの野吹係長、よろしくお祈いします。今年最後の例会、皆様一年間お疲れ様でした。(大口)
- 大井君 本日、ゲスト野吹様、岩崎様ご講演よろしくお祈いいたします。本年最後の例会、皆様お世話になりました。
- 平田君 ゲスト、三次市地域包括センター野吹係長、岩崎保健師様をお迎えして。(大口)
- 栗本君 孫が会報に載りました。「ゲストをお迎えして。本年最終例会、良いお年を！」光永君、中西君、野村君、上田君、酒井君、安藤君、杉谷君、阿部君、山崎君、圓道君

ニコニコBOX本日出宝額 33,000円



紙芝居 三次小学校

12月18日(木)、三次小学校6年生33名を対象に、紙芝居「もののけ禁煙物語」を上演してきました。実に真剣に見て、聞いてくれました。

その後30分ほど、感想を発表してくれました。様々な意見、質問が飛び交い、子どもたちの喫煙に対する思いを知ることができ、改めてこの活動の意義を深くしました。

写真提供：安藤会員 文：和田会員

ロータリー川柳

平田博紀

- ・小根森ノミニー会員と共にキャンプリン
- ・三次人よし元気よし八次と読み方分かつ
- ・飢餓に備え杏坪植えし柿の木は
- 今熊に備え伐れという
- ・七草粥三が日の野菜不足を解消し
- ・懐かしや年の数食べたとんど餅
- ・脇目振らず馬車馬のごと干支の女
- ・百パーセント我のことなり薬の宣伝
- ・独り身は日々の糧は？とよく聞かれ
- ・過疎に生き日々眺め入る霞の岡田山

きょうは三次市地域包括センターから、係長の野吹様と、保健師の岩崎様においでいただきました。

「認知症の人にも優しい事業所」ということでお話いただきます。それではよろしく願いいたします。

沈 勝義 社会奉仕委員長



認知症の人にも優しい事業所

三次市地域包括支援センター
係長 野吹 優
保健師 岩崎洋子



皆さんこんにちは。私たちは、三次福祉保健センター内、社会福祉協議会の一組織として高齢者総合相談・支援を実施しております。

タイトル「認知症の人にも優しい事業所」の中の『にも』、実はこの『にも』がポイントなのです。まず、認知症への理解を広げて、認知症になっても安心して過ごせる三次市という思いがこの『にも』には込められています。

ここで地域包括センターの業務についてお話します。高齢者の方の総合相談支援、ケアマネジメント、権利擁護、そして認知症に関するご相談などを受け付けております。昨年度の相談実績は延べ1,582件でした。

さて、本日は認知症の人にも優しい認定事業所についてお伝えできたらと思っています。地域包括センターには、昨年度は118件のご相談がありました。企業からの相談も受けています。もし、高齢者の方の相談があれば当センターにご連絡ください。

三次市の介護保険認定者ベースにおいては、認知症状ありが85.3%、(3,380人) 65歳以上では、認知症が19% (5人に一人) という状況です。認定外や・軽度(MCI)を含めるともう少しこの割合は大きい可能性があるかもしれません。

認知症は75歳を境に急上昇しています。ここで皆さんにクイズです。65歳以上で何人に一人が認知症になると思われますか? 正解は4人に一人なんです。認知症は早めに診察を受けた方がその進行を遅らせることができます。

「認知症の人にも優しい事業所って?」ということですが、まず、このようなステッカーを貼っていただきます。特別な対応をお願いするものではありません。当センターとの情報の共有、そして温かい対応。認知症サ

ポーターとは、知る、見守る、助けるです。認知症を正しく理解し、本人・家族を温かく見守る事業所・施設・店舗などを三次市が登録、認知症の有無に関わらず「誰もが安心して過ごせる三次市」を目指すものです。市内の登録は77箇所、ホームページ掲載、広報、ステッカーを配布しています。(ステッカーの写真)

昨年度は小学生から、大人、事業所など444人の方々がサポーター養成講座を受講してくださいました。

認知症を正しく理解し、偏見なく本人、家族を見守る「応援者」の育成です。接し方の基本は、「やさしく、ゆっくり、じっくり」を徹底し、周囲の関わりで症状の進行緩和・改善を目指します。

認知症は脳の病気です。加齢のみが原因ではなく、65歳未満でも発症します。ここで知っておいていただきたいのは、若年性認知症というのがあることです。まさか自分になるわけがないと思うことで受診が遅れることが課題です。また若い方になるということで、家庭の課題が大きな問題にもなります。県庁には就業も含めたサポートセンターがあります。

認知症にも種類があります。記憶力、判断力、言葉の問題。また、物忘れと、認知症の違いも知ることが大切です。認知症になっても、嬉しい、楽しいなどの感情は最後まで豊かだということを忘れてはいけません。認知症基本法というのが策定されました。「認知症とともに生きる希望宣言」をもとに、全国で「希望のリレー」プロジェクトを展開していきます。これからもご相談などありましたら、お声かけください。



■謝辞

大井会長

■点鐘

大井会長

除夜の鐘……………宮武直樹

年の瀬に除夜の鐘を撞かせていただきました。今年は丙午の年。勢いがあると言われますが、勢い余って空回りしないよう、まずは深呼吸から。鐘の音とともに一年のあれこれをそっと置いて、新しい年を迎えたいものです。この響きが、皆さまにとって気持ちを切り替える合図となれば幸いです。



太刀魚…………野村明弘
12月31日の釣果です



初日の出……………安藤仁
素晴らしい初日の出をいただきました。雪が降っていましたが、7時25分は、ラッキーな瞬間でした。皆様に楽しいこと、良きことがあることを願います。本年もよろしくお願いいいたします。

ゆく年くる年

2025~2026



くーちゃん……………光永義則
こたつの中の光永くーちゃんです。
今年も宜しくお願ひします。寒い寒い!!



生け花と家族……………小根森直子
正月の家族写真です。
サングリーンに活けた花と共に娘と孫達と一緒にです。



冬の日……………中島清貴



おせち料理……………山縣 隆
今年初めて、見よう見まねでおせちを作りました。



▲ちっちゃいお馬(ポニー)にエサやり中。



▲患者さん(雪の塊)を、そりで運び中。